



園だより



令和5年 1月31日(火) まことさつなえ保育園

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

さて、北海道の本格的な冬がとうとう到来しましたね。子どもたちは、ひんやりとした空気を肌で感じたり吐く息の白さを楽しんだりと季節を感じながら過ごしています。今年、「まこりんスノーフェスタ」として、園庭で雪像やかまくらを子どもたちと一緒に作り、飾りつけや色を付けてそれぞれ素敵な作品が出来ました。ぜひ、お子様と一緒にご覧ください。

そして、2月4日は延期になっていたほしふる組の「まこりんフェスタ」が開催されます。園内での発表となりますが、感染症の予防に十分気を付けて、子どもたちの成長した姿をお見せしたいと思います。



お願い

★ お迎え時間やお迎えの方の当日の変更があったときは、キッズリーの連絡帳で送信していただいております。16:30を過ぎて連絡をする場合は、園に直接電話連絡をお願いいたします。

2月の行事予定

- 1日(水)～ 個人懇談
- 3日(金) 節分の会
- 4日(土) まこりんフェスタ(ほしふる組)
- 6日(月)～ 身体測定週
- 17日(金) 避難訓練



実習生が来ます！

2月13日(月)～2月24日(金)

さんが保育実習

に来ます。
どうぞよろしくお願い致します。

子どもがやる気になる声かけ 「あいうえお」

「褒めるのはよいこと」と言われますが、せっかく褒めるなら子どもが自分は必要とされていると感じ、前向きになれる言葉をかけていきたいですね。今回は「あいうえお」から始まる5つの言葉をお伝えします。

【ありがとう】 よく使われる言葉ですが、ありがとうの前に具体的に子どもの行動や大人がどう感じたかを伝えるとよいです。例えば、「玩具を片づけてくれて、お部屋がきれいになって気持ちいいね。ありがとう」と具体的に伝えることで自分の行いが相手に良い影響を与えていると感じられます。

【いやならいいよ】 時には頑張りたいけど頑張れないときもありますよね。大人が強制的にやらせようとする、自分の思いをわかってくれないと感じて、物に当たったり、逃げたりなどの表現をしてしまいます。子どもの思いに寄り添って「嫌なら言ってね」と伝え、大人ができない理由をサポートすることで、前向きに取り組もうとする気持ちが生れます。何度も繰り返していくと、落ち着いて「いや」の気持ちを言えるようになります。

【うれしいな】 子どもの行動で嬉しい気持ちになったことを伝えてあげると、承認欲求が満たされ、自分は必要な存在と感じます。「いつも元気でいてくれて、それだけで嬉しいよ」など、意識して伝えていきたいですね。

【えらんでいいよ】 人間の脳は自分で選択できない状況を何よりも嫌うといわれています。様々な制限のある生活の中で、子どもに選択の自由を与えることが、心が楽になり気持ちよく行動できるといわれています。いくつかの選択肢を提示して「どっちにするか」子どもが選択できる機会を作るとよいですね。

【おかげで】 子どもに「あなたの行動、存在には価値があるよ」という気持ちを具体的に伝えると前向きな行動に繋がっていきます。「お手伝いしてくれてありがとう。おかげで助かったよ」などと伝えると自分が必要とされていると感じて、自己肯定感が高まります。

褒める言葉を使うときに意識して付け加えてあげると、大人も子どもも気持ちよく過ごせると思いますよ。